

大分県立中学校入学者選抜における外国語（英語）の出題について

R6.10.11 高校教育課
義務教育課

1 概要

現小学校5年生が受検する令和8年度大分県立中学校入学者選抜（令和7年度実施）において、適性検査内容に外国語（英語）を追加する。

2 背景

学習指導要領の改訂に伴い、令和2年度より小学校3・4年生では外国語活動、小学校5・6年生では外国語の授業が開始された。現小学校5年生は、外国語活動や外国語の授業を全て受けており、適性検査の出題方針においては小学校6年間で身に付けた知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等をもとにして、総合的な力をみることにしており、外国語についてもその対象とすることが適当と判断したもの。

3 内容

適性検査Ⅰで行っている国語の聞き取り問題を廃止し、外国語のリスニング問題を追加する。

4 その他

受検者への配慮として、外国語の出題例を公表予定。

《参考》 令和7年度大分県立中学校入学者選抜適性検査問題における出題方針

・適性検査Ⅰ（50分）

小学校6年間で身に付けた知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等をもとにして、文章を聞いたり、読んだりして把握した内容や、図表等から読み取った内容について、目的や条件に応じて考えをまとめ、表現する力等を総合的にみる。

・適性検査Ⅱ（50分）

小学校6年間で身に付けた知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等をもとにして、日常の事象や自然の事物・現象に対して、課題を発見し、筋道を立てて考え解決する力等を総合的にみる。